



たかすぎ こうじ
高杉 浩司 医師（内科）

高知大学医学部出身
日本内科学会 総合内科専門医
日本リウマチ学会 専門医・指導医
日本腎臓学会 腎臓専門医

2019年4月から、内科の常勤として高杉 浩司医師が
就任しました。医師を志したきっかけから最近のマイ
ブームまでお聞きしました。

— ご出身はどちらですか？

高杉：豊田市です。小坂町に住んでいて、衣丘小学校に通っていたので、このあたりは生まれ育った町という感覚です。

— 当院の印象はいかがですか？

高杉：子どものときからここで働きたいと思っていたので、これからはとても楽しみです。そのころと比べると、大きくてきれいな病院になったなという印象です。また、スタッフの方々も親切で雰囲気の良いところがとても好きです。

— 医師を志したきっかけは？

高杉：小学生のときに、医師である祖父（二代目院長 加藤健）が診察する姿を見たことがきっかけです。とてもすてきな仕事だな、

とあこがれていました。

— 専門の診療科についてお聞かせいただけますか？

高杉：リウマチ^{こうげんびょう}膠原病科と腎臓内科が専門です。腎臓内科は、高血圧や糖尿病などにも関わる病気で、いろいろな病気を総合的に診察し、薬の調整も必要な分野です。

一番得意なのは、リウマチ^{こうげんびょう}膠原病科です。関節リウマチなどの病気は、初期に見つけて治療を行うと、将来の予後が大きく変わる疾患です。トヨタ記念病院や聖路加国際病院、中部労災病院で診断・治療の経験を積んできましたので、今後も診療に携われたらと考えています。

また、関節などの超音波検査

はリハビリテーション領域にも応用できるかもしれないと考えていますので、一緒に勉強できるとうれしいです。

— 診療で心がけていることは？

高杉：自分が関わる患者さまの将来像が、一番良い状態になるようにいつも考えています。また、患者さまが困ったときに相談しやすい窓口になればと思っています。

病気のことを分かりやすく解説するのが得意です。この病気について聞いてみたい、ということがあれば、いつでも声をかけてください！

— もし医師になっていなかったら？

高杉：寿司職人でしょうか。中学のころ料理にはまり、寿司職人も

カッコイイと思った時期がありました。当時、大根のかつらむきの練習などをしていました。

— プライベートでのマイブームは何ですか？

高杉：子どもとボール遊びをするのが好きです。最近ボールを投げたり取ったりするのが上手になってきました。

— 患者さまへ一言お願いします。

高杉：豊田の人の健康を支えたいと思い、帰ってきました。よろしくお願いします。

